# 豚 肉 情 勢

4月11日 更新　　JA全農ミートフーズ株式会社

| 項目 | | 内容 |
|---|---|---|
| 供給 | 1.国産 | ○ 2月の全国豚と畜頭数は、1,312千頭と前年を下回った(前年比98.4%)。<br>地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道106.4%、東北100.9%、関東96.9%、北陸甲信越101.9%、東海98.8%、近畿100.6%、中四国100.7%、九州・沖縄95.5%<br>○ 3月の全国と畜頭数は、1,487千頭(速報値3月31日まで集計、前年比99.0%)と前年を下回る見込みとなった。<br>なお、稼働日数は昨年同様で、1日当たりの平均と畜頭数は67,591頭(前年実績:68,246頭/日、前年差△655頭/日)となった。<br>○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;3月27日付け)によると、4月;1,366千頭(前年比99%)、5月;1,326千頭(同100%)、<br>6月;1,312千頭(同98%)、7月;1,294千頭(同103%)、8月;1,288千頭(同98%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約100%と前年並み。 |
| | 2.輸入 | ○ 2月の輸入通関実績は、豚肉全体で71.3千ﾄﾝ(前年比99.2%、前月比95.2%)と前年を下回った。<br>内訳は、チルドが30.9千ﾄﾝ(前年比87.9%、前月89.4%)、フローズンは40.4千ﾄﾝ(同110.0%、同100.2%)となった。<br>国別でみると、チルドでは海上物流の遅延などからアメリカ・カナダが減少したものの、価格優位性のあるメキシコは増加した。フローズンでは、スペイン・カナダ・チリが増加した。<br>(参考)形態別相手国別輸入数量<br>チルド　　;米国15.3千ﾄﾝ(同89.7%)、カナダ12.6千ﾄﾝ(前年比81.3%)、メキシコ3.0千ﾄﾝ(同116.2%)<br>フローズン ;スペイン15.0千ﾄﾝ(同140.7%)、メキシコ6.5千ﾄﾝ(同94.1%)、デンマーク4.8千ﾄﾝ(同82.4%)、カナダ2.5千ﾄﾝ(同118.9%)、チリ2.4千ﾄﾝ(同165.3%)<br>○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(3月29日公表)によると、3月の輸入量;69.4千ﾄﾝ(前年比96.6%)および4月の輸入量;96.6千ﾄﾝ(同88.8%)と3月、4月ともに前年を下回る。<br>チルドは、北米の現地価格の高止まりや為替の影響などから低調な数量が継続すると見込まれる。<br>フローズンは、欧州各国からの供給が安定的に行われると見込まれるため、3月は前年を上回るが4月は昨年の輸入量が多かったため下回ると見込まれる。<br>令和5年3月:合計69.4千ﾄﾝ(前年比96.6%)、チルド32.6千ﾄﾝ(同83.5%)、フローズン36.8千ﾄﾝ(同112.2%)<br>令和5年4月:合計96.6千ﾄﾝ(前年比88.8%)、チルド33.1千ﾄﾝ(同88.7%)、フローズン63.5千ﾄﾝ(同88.8%)<br>直近3か月(2月～4月)平均:合計80.5千ﾄﾝ(前年比95.6%)、チルド32.5千ﾄﾝ(同87.5%)、フローズン48.0千ﾄﾝ(同102.1%) |
| 需要 | 1.家計消費<br>2.小売動向<br>2月概況 | ○ 総務省発表の2月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,795g(前年比97.1%)、支出金額が2,712円(同102.7%)となり、<br>購入量は前年を下回ったが、金額は前年を上回った。(※2019年度比:購入量 104.7%、金額 111.8%)<br>○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の2月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,101億円(前年比100.9%、既存店ベース99.3%)と前年を上回った。<br>相場の高騰が続き、買上点数の伸び悩みは続いている。鍋商材は、月後半からの気温の上昇により伸び悩んだ。牛肉は和牛の動きが鈍く、豚肉は輸入品の価格高騰より国産に需要がシフトした。<br>加工品は前年並みだった店舗が多い。節約志向の高まりで週末の大型パックが好調だった。価格が訴求出来ず販売に苦心しており、売上高は確保したものの利益が出にくい状況。 |
| | 3月概況 | ○ 日本チェーンストア協会が公表した2月販売概況によると、畜産品の売上は846.9億円(店舗調整後で前年比98.0%)となり、前年を下回った。<br>牛肉、豚肉、鶏肉の動きは鈍かった。鶏卵の動きは良かったが、ハム・ソーセージの動きは鈍かった。<br>○ 3月は、前月に引き続き切り落とし等のスソ物需要は高かったが、肩ロースなどの需要が低迷した。月後半からは、桜の開花が早まったことにより花見需要は増加したが、<br>学校が春休みに入り給食需要が減少したことで、需給は全体的に緩和した。 |
| | 3.加工肉仕向量 | ○ 日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表の2月の豚肉加工品仕向量は25.8千ﾄﾝ(前年比92.1%)と、加工品の値上げによる販売不振は続き、前年を下回った。<br>内訳は、国産原料5.0千ﾄﾝ(前年比90.8%)・輸入原料20.8千ﾄﾝ(同92.4%)で、国産・輸入原料ともに前年を下回った。<br>なお、上記仕向量とは別枠のシーズンドポークは9.0千ﾄﾝ(前年比102.2%)と、上回った。 |
| 在庫 | 1.在庫 | ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(3月29日公表)によると、2月末の推定期末在庫量は209.0千ﾄﾝ(前年比116.6%、前月比100.9%)となり、前年を上回った。<br>内訳は、輸入品;189.1千ﾄﾝ(前年比121.2%、前月比100.2%)で前年を上回り、国産品;19.9千ﾄﾝ(同85.9%、同107.6%)で前年を下回った。<br>また、今後の期末在庫は、3月が208.3千ﾄﾝ(同115.7%)、4月が213.7千ﾄﾝ(同111.2%)と、いずれも前年を上回って推移するものと見られる。 |
| 枝肉相場 | 1.R5年3月速報値 | ○ 3月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;3月31日時点)は、574円/kg(前年比113.2%)と前年を上回った。<br>3月の相場は、前半は2月需給の影響から高値推移していたが、中旬以降は学校給食の減少に伴い需給が緩和したことや<br>決算に向け仕入れを調整する動きがあったことなどから弱含みな展開となり、月平均では前年を上回ったものの前月は下回った。 |
| | 2.予測<br>R5年 4月 | ○ 4月の相場は、月前半は消費者の生活防衛意識が高くスソ物中心の需要となり弱含みな展開が見込まれ、中旬以降は学校給食の再開による需要増や<br>GWに向けた手当てなどから後半にかけて引き締まると見込まれ強含みな展開を想定するものの、月平均では前半の落ち込みが影響し前月よりも弱含みを見込む。 |

| ＜相場予想:　東京市場、税込み＞ | 2月実績 | 3月速報値 | 4月予測 | 5月予測 |
|---|---|---|---|---|
| 【上物】(前年比) | 588円/kg(115.1%) | 574円/kg(113.2%) | 550円/kg(112.2%) | 580円/kg(91.6%) |

国内生産量の推移　(千頭:%)

| 暦年 | 国内と畜頭数 | |
|---|---|---|
| | 千頭 | 前年比 |
| R1年 | 16,320 | 99.3 |
| R2年 | 16,686 | 102.2 |
| R3年 | 16,836 | 100.9 |
| R4年 | 16,577 | 98.5 |
| R4年 10月 | 1,484 | 98.7 |
| R4年 11月 | 1,462 | 96.8 |
| R4年 12月 | 1,384 | 96.8 |
| R5年 1月 | 1,312 | 98.4 |

農水省出荷予測　(千頭:%)

| 暦年 | 出荷予測 | |
|---|---|---|
| | 頭数 | 前年比 |
| R5年 3月 | 1,451 | 98 |
| R5年 4月 | 1,366 | 99 |
| R5年 5月 | 1,326 | 100 |
| R5年 6月 | 1,312 | 98 |
| R5年 7月 | 1,294 | 103 |
| R5年 8月 | 1,288 | 98 |

輸入量の推移　(ﾄﾝ・%)　財務省:通関実績

| 暦年 | 輸入数量 | | チルド数量 | |
|---|---|---|---|---|
| | ﾄﾝ | 前年比 | ﾄﾝ | 前年比 |
| R1年 | 958,963 | 103.7 | 407,360 | 100.1 |
| R2年 | 891,807 | 93.0 | 416,334 | 102.2 |
| R3年 | 903,455 | 101.3 | 420,361 | 101.0 |
| R4年 | 977,158 | 108.3 | 403,854 | 96.3 |
| R4年 11月 | 87,956 | 112.0 | 42,216 | 123.6 |
| R4年 12月 | 68,932 | 92.5 | 26,631 | 86.9 |
| R4年 1月 | 74,909 | 90.7 | 34,559 | 88.7 |
| R4年 2月 | 71,321 | 99.2 | 30,907 | 87.9 |

家計消費量　(ｸﾞﾗﾑ, 円, %)

| 暦年 | 全国1世帯当り | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 数量 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| R1年 | 21,178 | 98.4 | 29,637 | 96.9 |
| R2年 | 22,973 | 108.5 | 32,861 | 110.9 |
| R3年 | 22,559 | 98.2 | 31,892 | 97.1 |
| R4年 | 22,297 | 98.8 | 32,487 | 101.9 |
| R4年 12月 | 1,995 | 103.9 | 3,047 | 108.5 |
| R5年 1月 | 1,872 | 97.3 | 2,925 | 106.2 |
| R5年 2月 | 1,795 | 97.1 | 2,712 | 102.7 |

加工品仕向量　(千ﾄﾝ・%)

| 暦年 | 加工品仕向量 | |
|---|---|---|
| | 千ﾄﾝ | 前年比 |
| R1年 | 372.1 | 98.8 |
| R2年 | 376.7 | 101.5 |
| R3年 | 379.4 | 100.6 |
| R4年 | 368.5 | 97.4 |
| R4年 11月 | 33.8 | 93.9 |
| R4年 12月 | 32.9 | 96.6 |
| R5年 1月 | 28.1 | 100.7 |
| R5年 2月 | 25.8 | 92.1 |

市況の推移(東京市場)(円/kg・%)

| 暦年 | 豚枝肉「上物」(税込み) | |
|---|---|---|
| | 円／kg | 前年比 |
| R1年 | 524 | 101.2 |
| R2年 | 561 | 106.9 |
| R3年 | 546 | 97.3 |
| R4年 | 582 | 107.0 |
| R4年12月 | 565 | 97.8 |
| R5年1月 | 530 | 105.0 |
| R5年2月 | 588 | 115.1 |
| R5年3月速報値 | 574 | 113.2 |